



慶應義塾大学ビジネス・スクール

丸善株式会社

5

—メザニン・ファイナンスの活用と事業連鎖再構築—

1 丸善の創業

10

(1) 西欧文化花盛りの明治の風を受けて

梶井基次郎の「檸檬」。丸善といえば誰しも思い浮かべる詩情あふれた文芸作品である。現代の読者でさえ、その散文風の著作の中に、都会的で気品のある当時の丸善店舗を想像することができる。不安で鬱屈した時代、知性あふれる作家たちは丸善を愛した。黄金色に輝く爆弾に見立てられた檸檬が置かれたであろう京都店は閉店されている。しかし、知性と品位をたたえた丸善の店舗には、檸檬の似合う美術書の棚を今もたずねることができる。

15

明治2年(1869年)福沢諭吉門下生である早矢仕有的は丸善の前身である丸屋商社を開業した。早矢仕はもともと医師であったが、慶應義塾に入塾して福沢諭吉に学んだのち、洋書および医薬品や医療機器の輸入販売を手がける商社を創業した。

20

明治維新による開国直後、日本人は西欧列強国に脅威を感じながら、優れた海外の学術や文化、技術力への憧憬を抱いた時代であった。こうした時代、早矢仕は、翻訳書の発行、書店での販売、薬店を起業した。さらに開業後には、唐物(洋雑貨)店や洋服の仕立、指物(西洋家具製造販売)などの取扱を相次いで開始した。主な取扱商品は、書籍のほか、万年筆、鉛筆、タイプライターなどの高級文具、あるいは帽子、手袋、シャツといった縫製品、マッチやタバコの奢侈品、果てはバター、ソース、カレー粉、ビールなどの食品にまで及んでいる。

25

こうして、わが国に商品として西洋文化を紹介する「丸善」の礎が築かれたのである。

このケースは慶應義塾大学大学院経営管理研究科 許斐義信元教授の指導の下、宮部明彦(同研究科 M25 期卒業生)が作成した。なお、ケースに記載されている事実については経営の巧拙を示すものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 許斐義信、宮部明彦 (2012年10月作成)